【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-512681(P2005-512681A)
【公表日】平成17年5月12日(2005.5.12)
【年通号数】公開・登録公報2005-018
【出願番号】特願2003-554066(P2003-554066)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　13/494　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/15　(2006.01)
Ａ４１Ｂ　17/00　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　5/44　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/511　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/49　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/514　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/472　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/539　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４１Ｂ　13/02　Ｋ
Ａ４１Ｂ　17/00　Ｚ
Ａ６１Ｆ　5/44　Ｈ
Ａ４１Ｂ　13/02　Ｅ
Ａ４１Ｂ　13/02　Ｆ
Ａ４１Ｂ　13/02　Ｇ
Ａ６１Ｆ　13/18　３４０
Ａ６１Ｆ　13/18　３１０Ｚ
Ａ６１Ｆ　13/18　３２０
Ａ６１Ｆ　13/18　３３１
Ａ６１Ｆ　13/00　３５１Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成17年10月13日(2005.10.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
前部区画、後部区画、前記前部区画と前記後部区画を相互に接続する中間区画とを定め、前記区画の各々が少なくとも１つの領域又は部分を有する吸収性物品であって、
身体対向面を有するトップシートと、
バックシートと、
前記トップシートと前記バックシートとの間に置かれた吸収体と、
前記吸収性材料の上に配置され、少なくとも１つの輪郭を生成する弾性材料と、
を備える吸収性物品。
【請求項２】
前記弾性材料が、前記物品の１つの領域から前記物品の別の領域へと流体が移動するの

を促進することを特徴とする請求項１に記載の吸収性物品。
【請求項３】
前記弾性材料が、前記トップシートと前記バックシートとの間に配置されたことを特徴とする請求項１に記載の吸収性物品。
【請求項４】
前記弾性材料が、前記トップシートの上部に配置されたことを特徴とする請求項１に記載の吸収性物品。
【請求項５】
前記中間区画は、少なくとも部分的に股部を構成し、前記弾性材料が前記物品の股区域に配置されることを特徴とする請求項１に記載の吸収性物品。
【請求項６】
前記弾性材料の輪郭が、少なくとも１つの丘状構造体を形成することを特徴とする請求項１に記載の吸収性物品。
【請求項７】
前記トップシートと前記バックシートとの間に位置するサージ材料をさらに備えることを特徴とする請求項１に記載の吸収性物品。
【請求項８】
前記物品の少なくとも１つの前記区画の少なくとも１つの領域は、前記物品の他の領域よりも、低い吸収性であることを特徴とする請求項１に記載の吸収性物品。
【請求項９】
前記吸収体が、おむつの前記股区域に存在しないことを特徴とする請求項１に記載の吸収性物品。
【請求項１０】
前記吸収体は、前記弾性材料が前記物品に配置された前記物品の領域には存在しないことを特徴とする請求項１に記載の吸収性物品。
【請求項１１】
前記吸収体と前記トップシートとの間に位置する蒸気バリアをさらに備え、
前記蒸気バリアは、着用者の皮膚が曝される蒸発水分の量を低減させるものである、
ことを特徴とする請求項１に記載の吸収性物品。
【請求項１２】
流体が前記物品の１つの領域から前記物品の別の領域に移動するのを促進させる前記弾性材料は、発泡体状材料、エラストマー、熱可塑性材料、連続又は独立気泡発泡体、又はプラスチック複合体を含むことを特徴とする請求項１に記載の吸収性物品。
【請求項１３】
前記物品が、おむつ、トレーニングパンツ、吸収性下着、成人失禁用製品、衛生用拭取り材、湿潤拭取り材、婦人衛生製品、創傷被覆材、包帯、遺体及び獣医用清拭材、衛生及び吸収性製品から選択される個人ケア製品であることを特徴とする請求項１に記載の個人用ケア製品。
【請求項１４】
前部ウエスト区画、後部ウエスト区画、及び前記前部ウエスト区画と前記後部ウエスト区画とを相互に接続する中間区画とを定め、前記区画の各々が１つ又はそれ以上の区域を有する複合体であって、
前記複合体のバックシートは、明細書に記載の水蒸気透過率試験に従って計算したときに２４時間当り少なくとも約１０００グラム毎平方メートルの水蒸気透過率を定める蒸気透過性であり、前記トップシートは、液体透過性であり、前記弾性材料は、流体が前記複合体の区域から遠ざかる方向に移動するようにするのに十分な隆起を有した状態で前記トップシートと前記バックシートとの間に配置された弾性材料の起伏を形成しているものであることを特徴とする請求項１に記載の吸収性物品。
【請求項１５】
前記少なくとも１つの起伏は、前記複合体の少なくとも１つの区域に流体を向ける材料

の丘又は傾斜であることを特徴とする請求項１４に記載の複合体。
【請求項１６】
前記中間区画が、少なくとも部分的に股区域を構成し、前記弾性材料が前記物品の前記股区域に配置されたことを特徴とする請求項１４に記載の複合体。
【請求項１７】
前記吸収体は、前記複合体の前記股区域には本質的に存在しないことを特徴とする請求項１６に記載の複合体。
【請求項１８】
前記複合体は、使い捨ておむつであり、前記吸収体と前記トップシートとの間に配置されたサージ処理層と蒸気バリア層とを含むものであることを特徴とする請求項１４に記載の吸収性物品。